

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103417
法人名	株式会社 メディックス
事業所名	パートナーハウス こすもす
所在地	松山市高井町724番
自己評価作成日	平成28年5月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成28年6月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

お一人お一人の思いや意見を大事にし、なるべく希望が叶うように支援している。入居者様が生き生きと生活できるようまた、笑顔が沢山見れるように尊厳を守り優しさを持って笑顔で接する事を大事にしている。施設犬の「マル」が皆様の癒しとなっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者の希望や要望に沿った外出を「夢企画」として計画し、実現できるよう支援している。お墓参りを希望した利用者には、家族の許可を得て職員2名が付き添い、汽車に乗って出かけ、たいへん喜ばれた。
絵の得意な方の作品を廊下に飾り、和裁の得意な方の雑巾縫いや花の水やり、畑仕事等、一人ひとりの楽しみごとや役割、出番をつくる取り組みを行っている。
玄関前には、ポーチュラカ等のプランターを並べ、玄関を入るとアジサイやグラジオラスの花を飾っていた。調査訪問時、利用者は居間でソファーに座りテレビを見たり、食卓テーブルで新聞を読んだり、洗濯物たたみをして過ごしていた。「トイレ」「洗面所」と書いた紙を立体的に貼って、少し離れたところからも場所が分かるよう工夫をしていた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム パートナーハウス こすもす

(ユニット名) Bユニット

記入者(管理者)

氏名 布施 千秋

評価完了日 H28年 5 月 30 日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「あるがままを笑顔で支える・・・家族と共に仲間と共に地域と共に」を、皆で支えていくことをより強く思える理念とし共有している	
			(外部評価) 「幸せの追及」という系列事業所共通理念を玄関や事務所、ユニットの共用空間等に掲示している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 高井町内合同の消防訓練を一緒におこないまた、町内の清掃活動に参加している。夏祭り、秋祭りにも参加し地域の住民の方にもメディックスのまつりにも来ていただいている。	
			(外部評価) 町内会に加入し、回覧板が回ってきており、地域の情報を得ている。町内の溝掃除には、職員が参加して近隣の方と一緒に活動している。町内の夏祭りに出かけられるよう支援したり、秋祭りには獅子舞いや神輿の訪問がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) メディックス(同グループ施設合同)での納涼祭を開催し参加して頂くことで理解していただいている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 地域の方や家族、また介護保険課の方々にいるいろいろな意見等を出していただき、日々のサービスに活かしている。</p> <p>(外部評価) 会議には、利用者や家族、町内会長、民生委員等が参加している。職員も7～10名参加している。会議では、状況報告とテーマを毎回決めて勉強会を行い、意見交換を行っている。地域からの参加者は、地域行事等の情報を教えてくれる。</p>	<p>現在のステップに向けて期待したい内容(外部評価のみ)</p> <p>現在、家族の会議参加が限定的になっている。家族の参加を働きかけて利用する側からの意見を引き出してほしい。又、サービス評価の結果や目標達成計画への取組状況を報告して、参加者にモニター役になってもらってはどうか。</p>
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 社内研修等にもご協力いただいたり、よく連絡をとりあって運営に生かしている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時に地域包括支援センターの担当者等からテーマに沿ったアドバイスがある。中学生の職場体験等の受け入れを行っている。</p>	<p>現在のステップに向けて期待したい内容(外部評価のみ)</p>
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 社内全体で取り組んでおりミーティングでの話し合い勉強会に参加したり、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関も常にオープンである。音がすることにより危険防止になる工夫をし、耳を常に澄ましている。</p> <p>(外部評価) 法人内研修でも繰り返しテーマに取り上げ、学んでいる。日中は玄関を開放しており、職員の見守りのもと敷地内を自由に出入りしている方もいる。ユニットの出入り口は、戸の開閉時に音が鳴るようにしている。ベッドからの転落の心配がある利用者には、畳に布団を敷いて対応したり、センサーを置き、職員が駆けつけて対応している。</p>	<p>現在のステップに向けて期待したい内容(外部評価のみ)</p>

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者はユニット内を常に把握するよう努めており、必要に応じ指導を行っている。虐待についての勉強会に参加し、ミーティングで意見を出し合い情報を共有を図るよう努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 社内研修・外部研修で学び、全員が理解し説明できるよう努力している	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の際に、契約書の説明をさせていただき、また自宅へ帰ってから、もう一度契約書に目を通していただき、わからないところは質問していただくよう、十分納得の上で締結するようにしている	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 率直な意見を言ってもらえるような、関係づくりに努めている。意見箱を設置し苦情があればすぐに対応、対処するよう努めている。こすもす便りで1か月の様子をお知らせすると面会の時にその話題が出る事もあり改めて必要なことだと思う。 (外部評価) 家族来訪時には、本人の様子を報告して意見や要望を聞いている。毎月、「こすもす便り」を発行し、前月の行事の様子を報告している。又、便りの下段には、個別に利用者の日常の様子や健康状態を手書きしている。クリスマス会等の行事と併せて年2回家族会を行っている。	家族とともに利用者の暮らしを支えていけるように、行事時や日常の中で家族と一緒に活動するような場面や機会作りに工夫してはどうか。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ユニット毎のミーティング・リーダー会を行い職員の意見に耳を傾け話し合い協力し合う姿勢で対応している	
			(外部評価)	
			月1回のミーティングは、職員全員が参加することになっている。欠席した職員は、会議録で内容を確認する仕組みを作っている。職員は、年2回、管理者との個人面談があり、要望を出すことができる。法人主催の親睦会では、系列事業所職員と一緒にボーリング大会や忘年会等で親睦を図る機会がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			勤務状況や実績、問題点等把握することに努めている。月1回の会議では職員の小さな問題でも取り上げている	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			社内に教育研修部を設け、社内研修・外部研修・資格試験のサポート等職員のスキルアップを図っている	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			地域包括のグループホーム交流会に積極的に参加させていただき、他の事業所と交流し、お互いが向上していく体制をつくっている	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用開始前から信頼関係づくりに努めている。ご本人、ご家族が安心して利用できるよう、納得いくまで話あって、本当に喜んで入居していただけるよう最善をつくしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 人居の申し込みをされた段階から、ご家族の思いを聞き、さらに利用開始の時点でより深く話し合いを行い、パートナーとして、一緒に支えあえるような関係づくりをしている	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 話し合いをきちんとすることで、ご本人やご家族が、今一番困っていること、必要としていることを見極め、対応、支援させていただく	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 時に先生になったり、生徒になったり、それぞれ得意な分野で手伝ってもらったり、教えあったり、共に支えあうという関係づくりをしている	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族はゲストではなくパートナーとしてお迎えし、一緒に支えていくという関係作りをしている	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) いつでも面会できたり、行きたい所へいけるよう支援している。夢企画を実施している。	
			(外部評価) 利用者の希望や要望に沿った外出を「夢企画」として計画し、実現できるよう支援している。お墓参りを希望した利用者には、家族の許可を得て職員2名が付き添い、汽車に乗って出かけ、たいへん喜ばれた。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) テーブルの位置を変えたりして、関わるグループに変化をつけたり、職員が間に入り、孤立したり、もめたりしないよう支援している	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 時々連絡をとり状況確認をし、いつでも相談に応じることをお伝えしている	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 可能な限り、ご本人の思いに添えるよう支援している。意志疎通の困難な方でも、できる限り理解するよう努力している。アセスメントシートを作り情報共有できるようにしている。	
			(外部評価) 前回の外部評価をきっかけに、アセスメントシートを新しくしており、新たな情報は、その都度追加している。運営推進会議には、利用者6~7名が参加しており、テーマに沿って意見を話している。さらに、日々の暮らしの様々な場を捉えて、利用者が選んだり決めたりするような場面作りに工夫してほしい。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族・担当ケアマネージャー・サービス提供責任者等から詳しく聞き取り、今後の生活に生かしていけるよう配慮している	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ケアマネ・リーダー・看護師・介護職をまじえたミーティングにおいて、常に現状の把握に努め、その時々でケアプランの見直しをしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ミーティングにおいて、皆で介護計画を見直しながら、その時点での最善と思われるプランで、本人・家族と話し合い計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、「援助計画チェック表」で毎日実践状況を記録・確認し、職員で共有している。月1回のミーティング時には個々のケアについて話し合い、6ヶ月毎、又は、状態変化時に評価と見直しを行っている。個別記録には、本人の言葉や行動等を具体的に記入している。今後さらに、言葉や表情を観察して背景にある思いや求めていること等も探り、計画に反映してほしい。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>気づいたこと、あったこと、全て対応した職員がその都度個別介護記録に記載し、その情報を正確に共有し、問題点が発見しやすく見直しに役立つよう工夫している</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に化する利用者に対して、柔軟に対応している。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市の職員、民生委員、消防署員、美容師等さまざまな方に関わっていただき、日々心豊かに安全に暮らせるよう支援している</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ご本人、ご家族の希望する医療機関へ受診、または往診にきていただいている。また24時間対応の医療機関とも連携し万全を図っている	
			(外部評価) 不眠や不穏がある場合、家族に希望を聞き、かかりつけ医に相談して眠剤や安定剤を使用する事例もあるが、本人の状態をかかりつけ医に報告しながら、助言を採り入れた介護計画を作成し、総合的な支援に取り組み、減薬や短期間の内服に留める支援を行っている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 毎朝の申し送り時や、その都度必要に応じ、介護職から看護師へ報告や相談をする。看護師は必要に応じ主治医へ連絡する。また受診時、往診時に付き添い情報提供して支援する	
			(外部評価)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 頻繁に病院を訪れ、主治医や看護師と情報交換を行い早期退院に努めている。病院からの入居相談にも尽力し、いい関係をつくっている	
			(外部評価)	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 看取りや医療への転換についても状況に応じてその都度説明させていただいている。また、利用者、家族の希望に出来るだけ添えるよう努力している。看護師を中心に職員がきめ細かいケアで支援している	
			(外部評価) 昨年度は、2名の方の看取り支援を行った。家族の希望やかかりつけ医の意見、事業所が大切にしている「最期まで皆と一緒に生活」等を探り入れた看取りの介護計画を作成し、さらに職員の申し送り時にも方針を確認・共有して支援に取り組んだ。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防署の協力を得ながら、救急救命の講習を社内で行い、すべての職員が救急時に対応できるように訓練している	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回消防署の協力で、消火・通報・避難の訓練を行っている。全職員と全入居者で万一に備えている。町内の方、民生委員の方々とも協力体制ができている	
			(外部評価) 今年2月に消防署の協力のもと、町内合同消防訓練を事業所で行った。近隣の方の参加が多数あり、避難訓練の際には、利用者の誘導や見守りに参加してもらおう等、協力体制を築いている。運営推進会議時にも「地震対策について」等をテーマに挙げて地域の方と話し合っている。利用者全員の防災頭巾を、現在職員が手作りしている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 立派な人生を歩まれた大先輩として尊敬し、一人一人それぞれに配慮した声かけや対応に心がけている	
			(外部評価) 法人内研修で「接遇について」をテーマに言葉遣いや接し方を勉強している。絵の得意な方の作品を廊下に飾り、和裁の得意な方の雑巾縫いや花の水やり、畑仕事等、1人ひとりの楽しみごとや役割、出番をつくる取り組みを行っている。本人の希望でトイレの戸を開けたまま使用する方がいるが、プライバシーの観点から配慮できることはないか、職員で話し合ってみてはどうだろうか。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 優しく、分かりやすく話しかけることによって、ご本人が思いを伝えやすい雰囲気作りを心がけている。出来る限り希望に添えるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 優しく、分かりやすく話しかけることによって、ご本人が思いを伝えやすい雰囲気作りを心がけている	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 定期的に美容師にきてもらい、楽しく会話しながらおしゃれを楽しまれている。毎日の洋服選びにも気を使っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 匂い・音を感じていただきながら食事作りをしている。出来る方には片付けを手伝ってもらったりしている。季節を感じる事ができる行事食や誕生日には食べたい食事を提供している。 (外部評価) 業者が立てた献立で食材が届き、職員が各ユニットで調理している。利用者は、届いた食材を職員と一緒にチェックしたり、時には盛り付け等を行うこともある。職員も同じものを一緒に食べながら利用者をサポートしている。茶碗・湯飲み・箸は個々のものを使用していた。リクエストメニューの日や誕生日会、行事食は、利用者の希望を聞き調理している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 管理栄養士がつくったメニューを使い、バランスのとれた食事作りをしている。一人ひとりの状態に応じて調理形態を変えている。また、一日の食事摂取量、水分量を記録し把握している。状況によって、看護師と相談しながらそれぞれ対応している	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 一人ひとりの能力に応じた口腔ケアに心掛け、定期的に歯科医にチェック・指導をしていただく体制をつくっている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) それぞれのパターンを把握し、声かけ・誘導にてトイレで排泄することを基本としている	
			(外部評価) ミーティング時に、個々の紙パンツやパット等の必要性や適切性について話し合い、一人ひとりの状態に合った支援に取り組んでいる。排泄チェック表をみながらトイレの声かけ・誘導を行い、現在日中は、利用者全員トイレで排泄できるよう支援している。男性用便器を備えており、利用する方がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) きちっと食事や水分をとること、適度な運動をする事、その人その人のパターンに合わせた時間帯にトイレに座ることなどに努めている	
			(外部評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日声かけさせてもらい、本人の希望にそった時間で入浴していただく。自己決定できない方は、状況に応じて対応させていただく	
			(外部評価) 個々に週2~3回の入浴を基本としているが、希望により毎日入浴支援するケースがある。重度の方の中にはシャワー浴で支援するケースがある。一人で入ることを希望する利用者は、脱衣所からそれとなく見守り、必要時にサポートしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 出来る限り離床時間を長くすることを意識しながら、一人ひとりのその時々状況に応じて、休息していただく。夜も個々のペースで休めるよう支援している	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの薬の説明書を必ず読み、把握する様にしている。社内研修においても薬の理解、服薬の理解、副作用について学んでいる。状態の変化を見逃さないよう支援している	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に合わせて、出来ることを一緒にしたり、自分の役割を持っている方もいる。個別での外出(外食やお買い物など)を大切にしている	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 庭を散歩したり、遠くへドライブしたり、買い物に行ったりしている。「夢企画」があり職員と1対1で行きたいところに行くと言う支援をしている。(お墓参りや買い物、外食など)	
			(外部評価) 日常的に庭に出て畑を見たり散策して過ごしている。重度の方も庭に出て気持ち良く過ごせるよう取り組んでいる。畑では、野菜の植え付けや収穫を利用者と一緒に行っている。季節ごとの花見物やぶどう狩り、いちご狩り、外食等、ユニット別に計画して出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 全員ではないが、出来る方は自己管理をさせていただいている。中には、使わなくても持っているだけで、安心と満足を感じている方もおられる	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 自由に電話をかけていただく。ご自分で出来ない方はお手伝いし、取次ぎも随時行い交流支援をする。手紙を書かれる方もいらっしゃる	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共有空間は、清潔と家庭的雰囲気を感じ、花や飾りも季節感を大切に、変化をつけている。壁面も季節の飾りを心掛けている。利用者さんの作品も展示している</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関前には、ポーチユラカ等のプランターを並べ、玄関を入るとアジサイやグラジオラスの花を飾っていた。調査訪問時、利用者は居間でソファーに座りテレビを見たり、食卓テーブルで新聞を読んだり、洗濯物たたみをして過ごしていた。「トイレ」「洗面所」と書いた紙を立体的に貼って、少し離れたところからも場所が分かるよう工夫をしていた。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居室でゆっくり自由に過ごしたり、ホールで気の合う仲間と語ったり出来るよう、環境整備を図り支援の工夫をしている</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>なるべく使い慣れたものを持ってきて頂き、安心して過ごして頂けるよう心掛けている</p> <p>(外部評価)</p> <p>壁面には、塗り絵の自作品を並べて飾ったり、ひ孫達の写真を家族が持参して飾っているところもあった。自宅から使い慣れた鏡台を持ち込んでいる方や、ベッドに横になってテレビを見て過ごす方もいる。自分で掃除が出来るよう職員がサポートしているようなケースがある。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>完全にバリアフリーにしており、手すりも十分に設置してある。トイレやお風呂も、一人ひとりの状態に応じて選べるようになっている</p>	